



No. 53

# AΛEΞANΔPEIA

恵泉女学園大学図書館報

## 特集「詩の本」

### 詩の本 最初の一步

吉野弘『詩の楽しみ—作詩教室』  
(岩波ジュニア新書、1982年)



野崎有以

恵泉で文芸創作関係の授業を担当して今年で6年目になりますが、本書は初回の授業で学生の皆さんに必ず紹介している本です。

著者の吉野弘さん(1926 - 2014)は山形県酒田市出身の詩人であり、詩の創作だけでなく、詩の作法や技術論に関する著作についても高い評価を得ています。特に本書は詩の創作や鑑賞の入門書という位置づけにあり、平易な言葉で詩の魅力について存分に語られています。子どもから大人まで詩に興味のあるすべての人に開かれた本です。

私は詩人として活動していますが、実はこの本は私が最初に読んだ詩の本でした。小学校4年生の頃です。それまでもおそらく学校の教科書やいろいろなところで詩に触れていたはずですが、詩に興味をもって意識して本を読んだのはこの本がはじめてでした。吉野さんの詩はもちろん、ほかの著名な詩人の作品、それだけでなく高校生の書いた詩なども掲載されていて、非常に刺激を受けました。そして、吉野さん独特のやわらかい言葉遣いによる解説がとても印象的でした。

そして、20年近くの年月を経て、この本を再び引っ張り出すことになります。私は、2014年から2015年の初めまで『現代詩手帖』という詩の雑誌の投稿欄に毎月詩を投稿し、現代詩手帖賞という賞をいただきました。昔読んだ吉野さんのやさしい口調がとても懐かしく、再び手元に置いて、詩を書きました。例えば、電車が何時に何駅に到着するといった事務的な事柄でも並べてみたら詩になるとか、漢字を分解してみると詩ができるなどの記述は、詩の創作を毎月していた私を勇気づけるものでした。この小さな1冊の本が1人の人間を詩人にしてしまったと考えると、なんだかすごいですね。

本書は比較的手に入りやすい価格帯で、大きさもコンパクトなので、どこにでも持ち歩くことができます。新学期に何か新しいことを始めてみたい方に特におすすめしたい本です。



(日本語日本文化学科 教員)

『長崎まで』  
野崎有以著  
思潮社 2016年

特集 「詩の本」

「詩の本 最初の一步」 野崎有以  
図書館で読める詩集たち

図書館オススメスポット 図書館のキャラクター「ぶっくウ」をしていますか？

図書館で読める詩集たち

朝のお庭のすみっこで、  
花がほろりとないたこと

だれにもいわずにおきましよう。

「つゆ」より



選び抜かれた  
珠玉の60編

『わたしと小鳥とすずと』  
金子みすゞ著  
JULA出版局 1984年



人気作家の著者は  
「中原中也賞」  
受賞の詩人でもある

『水瓶』  
川上未映子著  
青土社 2012年

大切なものが死んだあとの大地はすこし甘い匂いがする  
「香水の詩」より



『死んでしまう系のぼくらに』  
最果タビ著  
リトルモア 2014年

ポットから  
注がれる  
お湯は  
やさしい  
言葉のようだ

「溶けてゆく」より



『くじけないで』  
柴田トヨ著  
飛鳥新社 2010年

出版時、99歳の著者の  
処女詩集

著者とひとりの  
恵泉生との深い  
交流を記す一編  
の詩も収録



『詩集 タイの蝶々』  
桜井哲夫著  
土曜美術社 2000年

指を奪った「らい」に  
指のない手を合わせ  
おじぎ草のようにおじぎした

「おじぎ草」より



「ゆあーん ゆよーん」  
は英語でどう言う？

『日本の名詩、英語でおどる』  
アーサー・ビナード著  
みずず書房 2007年

詩への  
アプローチ



作者みずからによる  
自作の詩の朗読  
が聞けるCD付

『やさしい現代詩』  
小池昌代/林浩平/吉田文編著  
三省堂 2009年

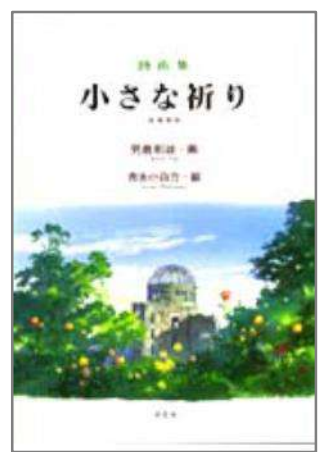


『ゴミの日：  
アーサー・ビナード詩集』  
アーサー・ビナード著  
古川タク絵  
理論社 2008年

詩とともに  
生きる

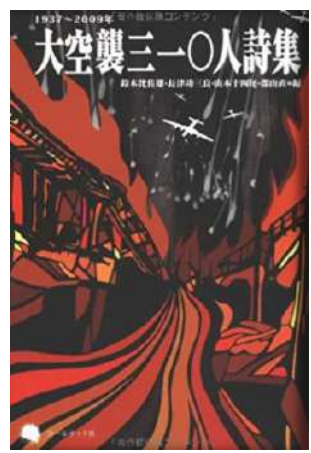


『寄りかからず』  
茨木のり子著  
筑摩書房 1999年



『小さな祈り：全詩英訳 詩画集』  
男鹿和雄画 吉永小百合編  
汐文社 1998年

詩で読む  
平和への  
祈り



『大空襲三一〇人詩集：  
1937～2009年』  
鈴木比佐雄 [ほか] 編  
コールサク社 2009年

## 図書館オススメスポット☑

みつけたらチェック!



☐ 図書館HPのブログ「100字でおすすめ!」で図書館スタッフが選んだ本を展示(文庫コーナー内)



☐ 恵泉女学園関係の発行物と大学の教員の著作物が、展示されています。図書館入口手前の展示ケースです



☐ 図書館に新しく入った本はここでチェック!



## 図書館のキャラクター「ぶっくう」をしていますか?

「ぶっくう」とその仲間たちとは・・・

一見、クマやネズミの様だが、実は図書館にすむ妖精。  
普段は書架のすみなどで、本を読んだり、まったりしているが、本が見つからず困っている利用者を見つけたり、資料探しの手伝いをしたりする図書館スタッフの一員です。どうぞよろしく!

☆得意技：必要に応じて体の大きさを変えられる。

☆好きな食べ物：おにぎりとおサンド。



ぶっくう



ぶっくうの仲間たち